



弘前大学同窓会報

第16号

発行日 平成27年3月1日
発行者 弘前大学同窓会
題字 吉田 豊 元学長

弘前大学将来ビジョンについて — 地域活性化の拠点を目指して —

弘前大学長 佐藤 敬 敬



同窓会の皆様には日頃
から大変お世話になって
おりますこと、この場を
お借りして、改めて感謝
申し上げます。ありがと
うございます。

さて、国立大学法人と
しての第二期中期目標・
中期計画期間が平成二十
七年度をもって終わるこ
とになっており、弘前大
学においても、平成二十
八年度から始まる第三期
に
に向けた中期目標・中期
計画の策定作業が進めら
れていきます。先ずは基本
となる将来ビジョンの策
定が必要であることか
ら、昨年の秋に関係の皆
様にもご意見を頂いて、
これを定めたところです。
将来ビジョンの基本的
考え方としては、文部
科学省による「世界最
高の教育研究の展開拠
点」、「全国的な教育研究
拠点」、「地域活性化の中
核的拠点」の三つの類型
に基づいて、弘前大学は
「地域活性化の中核的拠
点」を指すことを明確
にしています。このこと

は、「世界に発信し、地
域と共に創造する」とい
う本学のスローガンと決
して矛盾するものではな
く、いつも申し上げてい
る通り、地域と共に創造
した成果をもって、世界
に発信することを目指す
ものです。もちろん、そ
れ以外の教育研究活動が
あり得ないわけではあり
ません。「地域活性化の
中核的拠点」となること
は、世界的教育研究活動
とは一線を画すことでは
なく、世界における地域
を意識したものです。
最近特にグローバル
化の重要性がさまざまな
場面で強調され、本学に
おいても大きな課題であ
ることは間違いありません。
しかしながら、「地
域活性化の中核的拠点」
に特異的なグローバル化
などあり得ないのであつ
て、理念としては、世界
的教育研究活動を目指す
中で育った学生が、やが
て地域で活躍することに
なるのだと思います。地
域の行政も産業も、そし
て教育も、更なる社会の
グローバル化に対応した
ものになっていくことが
必要です。

第二期目標・計画は 地域資源 & 一芸の強みを活かして

弘大新ビジョン公表に関連し

同窓会会長 三上 巽



全国の大学設置状況は

平成二十五年学校基
本調査に拠りますと、平
成二十五年における全
国の大学設置数は合計で
七百八十二、このうち母
校弘大を含む国立は八十
六校、公立は九十校、私
立は六百六校となっております。

このような設置状況は、
近年における少子高齢化

の影響と相俟って「大学
全入時代」の様相を呈
し、一部の著名大学を除
き学生確保、大学運営は
厳しさを増しつつありま
す。

弘大将来ビジョンの策定

私共の母校・弘前大学
は昨春秋、法人化後の大
学運営の具体的目標・計
画の掘り所となる次期、
即ち平成二十八年〜三十
三年に亘る第三期中期目
標・中期計画策定の基本
方針「弘前大学将来ビ
ジョン」を策定公表した
ところであり、このこと
本ビジョンについての

私の感懐と致しましては、
冒頭の前文において「弘
前大学の社会的役割を
地域活性化の中核的拠
点」として位置づけら
れたこと、また基本方針
の中に弘前大学のスロー
ガンである「世界に発信
し、地域と共に創造する
弘前大学」を維持・継続
し、その趣旨に即した取
り組み姿勢を更に明確に
していくことを「弘前大
学の使命」として大学内
外に力強く宣言したこと
等、大いに期待できる内
容であると評価するもの
であります。

学生の就職活動を強力
にバックアップ。その先
頭に立つ石川善朗・学生
就職支援センター長にこ
れまでの取り組み、サ
ポート内容について伺
いました。



センター設立時からの
コンセプトは
「発足以来十年、就職支
援体制は、各学部の就職
関連委員会の活動を核に、
学務部の就職支援室と学
生就職支援センターが
「三つの輪」として活動
しています。

センターのロゴマーク
（赤いリンゴとハート）
にも描かれるように、リ
ンゴは青森県を、赤い
ハートは訪れる学生や企
業の方々へ対応するセン
ター教職員を象徴して
います。

学生就職支援センター
を設置したことで、大学
の窓口を明確にし、横の
連携強化を図っています。
学部による独自の就職支
援を基本としながらも、
各学部間の情報交換、学
部と全学的立場の連携を
中心に行う組織を充実さ
せ、本学の戦略的な就職
支援体制の方向性を明確
なものとしました。

「顧客たる進学志望者
並びに産・学・官共同・
連携に期待する外部の方
々からの評価如何ではな
いでしょうか。このよう
な私の想いが、母校・弘
前大学の第三期中期目
標・計画づくりにあつた
ての本稿の標題を「地域
資源 & 一芸の強みを活か
して」と標榜させていた
だいた所以でもあります。

就職支援10年成果着々

石川善朗・センター長に聞く

ガイダンス、 企業見学会が奏功



「社会と私—仕事を通し
て考える」などの授業を
開講し、ここでは、地域
企業の方々を「授業協
力者」として講師に迎え、
職業人から直接話を聴く
機会を設けています。

三年次になると、就職
ガイダンスの内容に
応じて複数回開講し、学
生へ情報提供しています。
近年はグループディス
カッションが採用試験に
課されることも多く、少
人数で演習形式による、
特に弘前大学の就職支
援では、学生への就職相
談に力を入れています。

「就職活動の後ろ倒し
で、就職活動の日程が大
きく変更となりました。
一年先輩の体験談が参考
にできない状況です。
テレビCMを見て、自
分も知っている企業だ
けではなく、企業間同
士で取り引きしてCMを流
してしていない優良企業
も多くあります。自分の
知っている企業を広げる
視野が大切です。

弘前大学は、地元就職
に強い大学です。青森県
だけでなく、北海道や秋田県
の多い、北海道や秋田県
岩手県の企業情報も多く
あります。自分の地元で
活躍できる人材の育成に
力を入れています。学
生には単なる地元就職で
はなく、地元で活躍でき
る人材に育ってもらいた
いと思います」

「2、3面に学部別の
就職状況」

医学部保健学科



保健学研究科の 改修工事を見つづけて

医学部保健学科
助教 澄川 幸志
(平成17年 作業療法学専攻卒)

私の所属する保健学研究科の改修工事も多少の遅れは見られるものの、ついに第三期の工事が始まりました。第三期の工事はA棟(事務室、大会議室、小会議室などがあつた建物)とB棟(検査技術科学専攻の実習室、看護学専攻の実習室などがあつた建物)の工事であり、それに伴ってA棟、B棟に研究室のある先生や、学務グループ、総務グループといった事務機能も移転となりました。私の研究室のあるD棟は第一期の工事であり、工事終了から一年以上経つのですが、工事終了早々に床の塗装がはがれ、一年経たずして再度床の張り替え工事を行ったのも、今は良い思い出となりました。

保健学科の改修工事については在学中から今までの間に幾多の改修工事を見てきました。私は保健学科の一期生であり、弘前大学と関わって十四年目になります。私の在学中に総合研究棟が増築され、弘前大学で働き始めてからは医学部付属病院と総合研究棟とを結ぶ渡り廊下が建設され、そして現在の改修工事と新棟の増築、と昔の面影

思ったものでした。結局、私が学生の間に渡り廊下は建設されなかったのですが、今も実習などで医学部附属病院に出かける際には渡り廊下を使わせてもらっており、その都度「昔に比べて便利になったな」と実感しています。

一方、建物の改修で便利になった反面、不便になったという声も学生からは聞かれています。よく聞かれるのが、図書館がなくて不便だといった声が聞かれます。以前は保健学科内にも保健学科分室という形で図書館がありましたが、数年前より、医学部分館に統合されました。医学部分館までの距離は遠いというほどではないとは思いますが、必要な時に必要な

書籍をすぐに閲覧できないという不便さは学生も感じておられるようです。教員の立場としても論文の執筆や講義資料の作成などで書籍が必要な際には医学部分館まで取りに行くことになるので若干の不便さは否めません。改修工事は今年度で終了となるようですが、数年後には何かしらの改修工事が行われるかと思えます。その際にも今の面影を残し、卒業生が来校したときに「懐かしい」と思えるような改修工事にしてもらいたいと思う次第です。

同窓会から

保健学科の改修は順調に進んでおります。お近くにいられた際には是非お立ち寄りください。

理工学部



理工学研究科 五十周年に際して

理工学研究科長 宮永 崇史
(理工学部・理工学部創設五十周年記念事業実行委員長)

同窓生の皆様、普段からご支援ありがとうございます。現在の理工学研究科は六五年に文理学部から改組されて以来、二〇一五年で五十周年を迎えます。この半世紀に渡って、理学部として一九九七年からは理工学部に対しましてご尽力いただいた数多くの関係者の方々に深く敬意を表したいと思います。私は弘前大学理学部助

球科学科、一九八七年に情報科学科が新設されました。さらに一九九七年に理工学部へと再編され、さらなる発展を遂げます。この改組を機会に生物学科が農学生命科学部に移行しますが、新たに機械工学系の学科を加え、理工融合を目指した国立大学として当時珍しかった理工学部としてスタートします。二〇〇六年にはさらに理工学部の学科改組を行い、二〇〇七年に国立大学が法人化されます。現在の学生数は学部定員三百名、大学院定員九十八名、教員数約九十名の規模となつています。そしてまた、理工学部ではこれまで以上に地域のニーズにこたえるため、大学改組と連動した新たな再編が現在進行中です。このように五十年目の節目に再び新たなスタートを切ることも何かの因縁かもしれません。

さて、理工学部はこのように創立五十年に際して記念事業を計画中です。この半世紀の歴史を振り返るにふさわしい事業になればと願っています。そのためにも、何卒多くの同窓生、卒業生および関係者の皆様のご参加を期待する次第です。現在の段階では次のような事業内容を検討しています。

同樹会だより

理工学部同樹会は、昭和二十四年、弘前大学創立時の文理学部理理学科の卒業生、昭和四十年設置の理学部の卒業生、平成九年設置の理工学部の卒業生、並びに大学院修了生を束ねる大きな会です。本学創立以来幾度か、理系学部や学科、また関連大学院の組織改組がありました。この弘前の同じキャンパスにて理学を根っこに学問に励み、社会に果立つべく若葉を茂らせた同士を束ねる会を意味して「同樹会」と称しています。

同樹会では、ホームページにて情報発信をしております。是非ご覧ください。http://www.st-hirosaki-u.ac.jp/~doju/ 二〇一五(平成二十七)

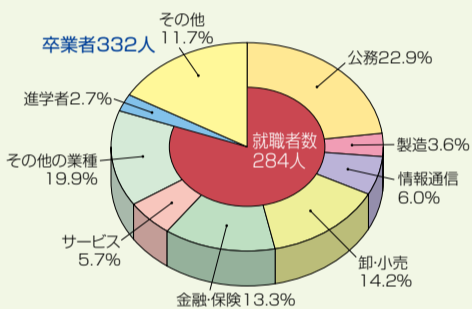
過去最高の記録

平成25年度 卒業生

支援センターの努力実る

弘前大学学生就職支援センターが大きな成果を上げています。学生の就職率が平成二十年度から各学部とも九〇%を越す好成績です。特に二十六年三月の卒業生は就職希望者九百十九人中、就職者は八百九十五人で、就職率は九七・四%という過去最高の記録に

人文学部



業種別を見ますと、人文は公務員がトップで続いて卸・小売、金融・保険業、情報通信業と続きます。教育は就職者のうち、教員が過半数を占め、公務員と続きます。医学(保健)はほとんどが医療・福祉でした。理工も公務員が多く、次が情報通信業、製造業です。農学は公務員、卸・小売、製造業の順です。

記念式典、記念講演、 記念パーティ

日時
平成27年
10月17日、18日
詳細は追って
ご連絡いたします

年、前述の理工学研究科長の記事のとおり、理工学部・理工学部創設五十周年記念事業が実施されます。同樹会としても、この記念事業への参画、協力をいたします。

農学生命科学部



農学生命科学部
名誉教授 神田 健策

国際化の中で 活躍する卒業生

大学の国際化、グローバル化が言われて久しい。本学もそれに向けてイングリッシュ・ラウンジ、はやぶさカレッジ、新しい専攻(コース)の設置構想など、取り組みが進められている。

私の専攻は農業経済学であるが、一九八〇年代の半ばから米の自由化が叫ばれ、一九九五年から米輸入が義務づけられた。この頃から外国農業事情を見聞し、研究教育に活かすことが課題となった。

一九九四年に本学と姉妹大学第一号であるUTM(テネシー大学マーチン校)に客員教授として四カ月ほど滞在し、初めて米国の稲作事情に触れることができた。当時、それほど詳細な情報がなかったもので、帰国後、写真や統計資料などをふんだんに講義で利用し、学生の関心に応えた。また、UTM研究者との科研費の日米大学間交流研究(三年間)、本学のUTM教員招聘事業などを利用して交流により学生参加の場面も増え、教育的効果は大きく、学生の外国への関心も強まった。一部を紹介する。

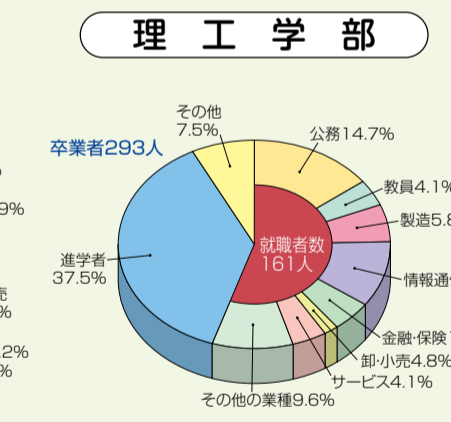
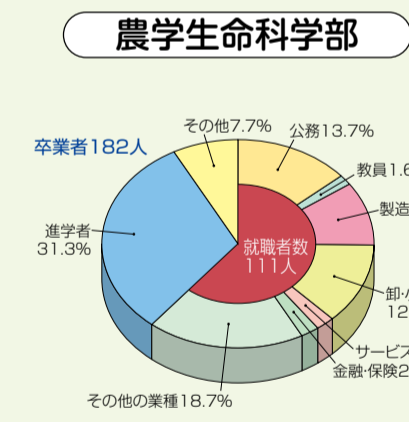
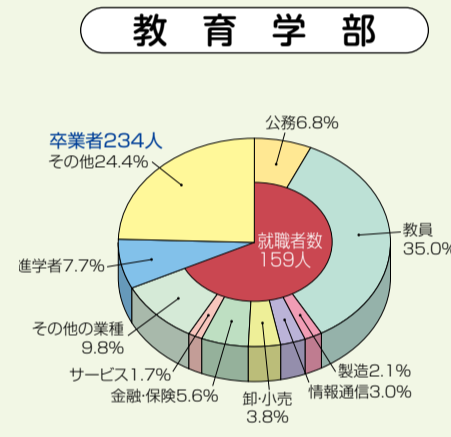
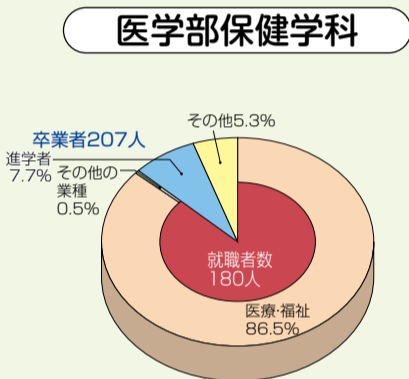
Aさんは短期大学から編入女学生だった。大

学入試時、英語が不得意で志望校に失敗したが、二年間の努力の結果、本学に編入合格した。英語が苦手だったが、UTMの先生と交流会で話した英語が通じたことから「話す英語」に興味を持ち、留学を決意した。UTMで将来のパートナーと知り合い、今は州都ナッシュビルに住んでいる。

BさんもAさんとはほぼ同じ経歴をたどっている。在学中、米国人の博士課程女性留学生が一年数カ月、私の研究室に所属していた。彼女も意思疎通のための片言の英語を使ったことが契機で英語が好きになった。卒業後、海外資系の会社で働くようになった。

Cさんは学生時代から海外農業に興味を持っており、ミネソタ大学大学院に進学し、世界的なアグリビジネスのカーギル社に就職した。私のゼミ生ではなかったが大学院受験の時、推薦文を書いてあげた。本学ではだいぶ前から受験生向けの新聞広告を出しているが、彼がその中に大きく取り上げられていた。広報紙とはいえ「弘前大学在中、背中を押してくれた教員がいたから今の私がいる」と彼は述べていた。嬉しかった。

就職率97.4%を達成



学部ごとの1年

「白神研究」、「リンゴの科学」、「ナマコ研究」、さらに「津軽地域の未開発遺伝子資源の有効活用研究」を推進する『地域資源活用研究センター』を設置しました。同センターでは、微生物、海産物、野菜・果樹、畜産物

Dさんは昨年九月、アフリカ・ガボン国で二年間の海外青年協力隊の任務を終えて帰国し、同月に学部内で帰朝報告を行った。学生、教員四十名弱が未知の国の話しを聞いた。ガボン国はかつてフランスの植民地だったため公用語はフランス語。ほとんど言葉が分からない状態で勇敢に現地へ飛び込み、現地

の農業発展に尽くしてきた。二年後、意思疎通以ていられない状態での帰国は、かなりの事柄はすべてそれが必要と自覚すればできるのだという事例である。若い学生の可能性は高い。「できないのではなく、できるようにしてあげる」だけのことで

といたった青森県や北東北の地域資源を活用して、高付加価値商品の開発、産業化を目指します。藤崎農場で四十二年間、リンゴの剪定の研究や、「こうこう」、「紅の夢」といった新品種育成に携わられた塩崎雄之輔名誉教授が、陸奥新報社賞を受賞しました。

人文学部



半世紀の総括
人文学部 教授 保田 宗良

弘前大学人文学部は、二〇一五年四月一日に創立五十年を迎える。一九六五年四月一日に文理学部から人文学部になって、五十年を経過したことになる。私事であるが九〇年一月着任の私は二十五年余りを勤務したので、ちょうど学部の歴史の半分だけ奉職したことになる。

この間振り返ると、入試制度の変更が関係して学生の出身地が大きく変

化した。北東北、北海道出身者が多くを占め、私のゼミナールでは、関東以南の出身者はいなくなつた。地域で活動する学生が増え、東奥日報、陸奥新報で成果が掲載されるのが少なくない。課題解決学習で自治体、地元企業の実務家と協働で問題解決を進めており、学びの方法も変わりつつある。

現在、校舎は午後九時まで学生が滞在できるが、



時間を必ず誰かしらお読み、あるいは文献を丹念に読み、あるいはパソコンの画面をノートにまとめていく。レポートの作成をしている学生もいる。講義終了後、こうした学生が目につくことは教員としては嬉しい限りである。

人文学部は、文系の複合学部である。教員は講座、専門分野を越えて多くの共同研究を進めている。他分野の専門研究者

同窓会通信

◆昭和45年経済学卒業者同期会 二十六年九月二十五日、弘前市のいわき荘で県内外から二十八人が参加、恩師の地主豊先生を囲み夜が更けるまで歓談し旧交を深めました。先生からは「これから大事なことは何を目標に生きていくかということ、早く自分のこれからの生き方を設計すべきだ」との助言をいただき、お互い納得し、酒量もあがって楽しいひとときを過ごしました。

地元開催は二十四年ぶり、当日の集合場所は母校で、資料館や食堂などを見学。大学の変貌ぶり

◆昭和44年卒業生は札幌近郊で開催 二十六年九月二十八日、北海道の札幌北広島クラッセホテルで道内外から二十一人が参加しました。道内の同期会は今回が三回目。参加者の大半は、年金生活者が多い中、今も一部上場の社長として一線で活躍しているつわものもおります。宴会が始まると北の大地で深夜まで学びの地・弘前を思い出しながら楽しく語りあっていました。

に目を見張り、北溟寮も訪問しました。建て替えのため近く取り壊されるのことで、当時を懐かしむ声が同期の仲間から上がっていました。

翌日は弘前公園を散策、下乗橋や岩木山をバックに記念写真を撮りました。実はわが同期は大学生活四年間に一枚も集合写真を撮っていないのです。今回、幹事の一人が写真を制作しました。という訳で、みんなで撮った写真は宝物になりました。(福田建美記)

教育学部



文化財を後世に

(二社) 弘前文化財保存技術協会
理事長 今井二三夫
(昭和45年 社会科卒)

私の生家は、弘前城のすぐそばで、小さい時から弘前公園が遊び場でした。

縄文時代の土器や石器を最初に見たのも本丸旧天守台の石垣下、蓮池護岸から拾ったものでした。小学校五年生の夏、ラジオで、日本最大の住居址と環状列石が岩木山麓の大森勝山遺跡で発見されたというニュースを聞き、翌日、父親の自転車を引っ張り出しえつちらおっちら発掘現場まで行ってみたのです。場所もわからず腹も空き、りんご畑に座っていたら、畑のおばさんが声をかけてくれ、事情を話したら大笑い。アメ玉とコップの水をくれました。五十年以上も前のことですが、今も忘れない美味でした。



大森勝山・縄文まつり

この時、発掘は休みだったのですが、おじさんが遺跡まで連れて行ってくれました。青森県は、北海道や秋田・岩手県とともに、縄文文化を世界文化遺産とすべく運動を展開し、平成二十一年一月、国の登録暫定リストに掲載しましたが平泉・富土山・高岡などに先を越され、未だ日の目をみていません。県民の間でも縄文文化を世界文化遺産にという気運が薄いのではないかと感じます。遺跡の数等から縄文時代の青森県は日本の首都だったのかも。世界遺産登録を目指すのは、県民に縄文文化を知って頂く良い機会と考えています。

青森県考古学の土台を築きあげた弘前大学教育学部村越先生門下の一人として平成二十六年八月、考古学の知識はなくとも縄文文化に興味のある方へ遺跡めぐりや発掘現場見学会、縄文講座などを行う「弘前縄文の会」を設立しました。

また弘前には宮大工・左官屋・榎屋・細工師等、伝統の匠の技を駆使する多くの職人さんがいます。それが今日、めっきり少なくなり、後継者の職人さんも育っていません。弘前から職人さんが消えかかっているのです。弘前の文化財や歴史的文化遺産を弘前の人間の手に守れなくなる恐れがあります。

そこで平成二十六年九月二十四日、匠の技を残し伝えていこうという趣旨・目的に意気投合した九人を発起人として、一般社団法人「弘前文化財保存技術協会」を立ち上げました。この事業を展開するには相当な経費を必要としますが、一人でも二人でも職人さんの育成支援をして参りたいと思っております。同時に、市民や県民に歴史的文化遺産を後世に保存継承する大切さを知って頂く講座や図書出版等の事業を展開する計画です。同窓の皆様のご支援をお願い申し上げます。

同窓会情報



「弘前縄文の会」入会案内
年会費：一、〇〇〇円
〇172329272 今井

附属図書館、学生支援センター、総合教育棟...

耐震改修で安全、新築も



一新した図書館正面入り口

弘前大学では平成二十五年、二十六年で附属図書館、学生支援センター、総合教育棟、総合研究棟(保健学系)の改修、新築を行いました。見違えるようになった各施設を紹介いたします。

バリアフリー化、郷土色前面に

附属図書館
学生が利用する図書館は建設から四十年以上が経過したため、老朽改修及び耐震改修を実施、さらに利便性を考え図書館の二階の北側にあつた入り口は一階東側に変更しました。冬期間は階段が凍結するため利用者の安全確保を図ると同時に、車椅子でも出入りしやすいバリアフリー化を行いました。また、多様な学習環境を提供する学びの場としての「ラーニングコモンズ」を充実しました。



アクティブ・ラーニング・エリア

一階閲覧室のテーブルは禁煙ですが、ペットボトルの持ち込みが可能な休憩室になっています。施設改修で新たに九万九千冊の収蔵が可能

医学部医学科



私の欲張り人生

医学研究科地域医療
助教 柳町 幸
(平成9年 医学科卒)

「これから続く女性医師のモデルになるよう頑張ってみればいいじゃないの」
私は平成九年に弘前大学医学部を卒業し現在の内分泌代謝内科(旧第三内科)に入局しました。実臨床では教科書通りに進む診療など皆無でした。新しい知識や医療手技を習得し、できることが増えることに充実感を味わいながらも慣れない仕事でへとへとでした。一方

と子育てのバランスをどのようにとっていかればいいのか全くわからないと愚痴をこぼしていた時に、母が冒頭の言葉を投げかけてくれました。その結果、復職後はたくさんの方々にサポートして頂き、順調に滑り出しました。「案ずるより産むがやすし」でした。所属した研究グループでは、上司の先生方のご配慮のおかげで、診療と研究の両立ができました。シンポジウムやワークショップなどの発表や臨床栄養に関する論文や原稿を執筆する機会を沢山いただき、無事に医学博士を取得することが出来ました。復職前は日々の診療と子育てで手いっぱいになり、研究は無理だろうと考えていましたが、環境と気持ちを整えれば、子育てをしながらでも研究はできるのだと実感しました。また、子育てをする中で、診療に対する姿勢が変わりました。それまでは、患者さんの置かれている環境に配慮することはほとんどありませんでした。ところが、子供が生まれてから、患者さんの家庭環境や社会的地位なども考慮して診療に当たることが出来るようになりました。また、子供が母親の仕事にネガティブな感情を抱かないように、仕事全般に對し前向きに取り組みよう心がけました。その結果、患者さんや診療スタッフとの意思疎通が円滑に運ぶようになりました。診療、研究、子育てとすべてを完璧にこなすことは無理ですが、それぞれが相乗効果を発揮することができるよう環境を整えることは可能であると思います。

現在、女性医師の割合が増加傾向にあり、沢山の女性医師が欲張り人生を楽しめる環境を整えていく必要があると思います。その結果、男女問わず、多くの医師が欲張り人生を楽しめる環境になるのではないのでしょうか。

日本女医会青森県支部

日本女医会の支部会として青森県女医会があります。更に、地域ごと、弘前支部、青森支部、八戸支部があります。定例会議や講演会、食事会などを通して、様々な分野

東京同窓会

弘前大学東京事務所 都内港区に開設

事務局 伊森 英明

東京都内をはじめ首都圏における活動の拠点として、昨年十一月、東京都港区内に「国立大学法人弘前大学東京事務所」(事務所長・柏倉幾郎理事)が開設されました。港区西新橋の町名表示ではありますが、都営三田線内幸町が直近の最寄り駅で、徒歩三分。JR・地下鉄各線の新橋駅(三月より上野・東京ラインの開業で首都圏各地から直通となります)日比谷口からでも徒歩八分。官庁街の霞ヶ関や一番新しく話題沸騰の森ビル「虎ノ門ヒルズ」も間近にそびえる、都内でも屈指のアクセス至便なところにあります。

入居している「クロスオフィス内幸町」の一階玄関には受付フロントがあり、取り次ぎ後、入館となります。セキュリティ



全館レンタルオフィスとなっており、事務室とは別に打ち合わせ用のラウンジやカンファレンスルーム(一部有料)もあり、用途にあわせてレンタルできるようなので、その分機動性が高くなっております。

東京事務所の執務時間は平日の十時から十八時まで。「産・官・学」の結節点として、関係各省



庁や各自自治体、他大学・研究施設、民間企業との情報交換、本学からの情報発信を業務とされる他、同窓生や入学希望者に対しての情報提供していきたいとのこと。同窓生の方々にもお気軽にお立ち寄り下さいとのことでした。

国立大学法人弘前大学 東京事務所

〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目18-6 クロスオフィス内幸町703号室
TEL 03-3519-5060
E-mail j-tokyo@hirosaki-u.ac.jp
twitter https://twitter.com/hirodaiTOKYO
HP http://www.hirosaki-u.ac.jp/information/about/satellite/

になりまして。なお同館の収蔵図書は六十六万冊とのことです。

学食は冷暖房で快適に

学生支援センター 学生、教職員の福利厚生の実現を目的に建設された施設。建設から三十六年以上も経過したことからの老朽化が激しく耐震改修、スロープの設置やバリアフリー化も行いました。学生食堂は内部を全



昼食時は学生でにぎわう食堂

面改装し冷暖房設備も完備、夏でも快適に食事をとることが出来るようになりまして。二階にあるレストラン・スクーラムはグリーンと広く、これまで以上に食事もゆったりとれます。ちなみに学生食堂の売れ筋の一番は豚生姜焼きで、次いで油淋鶏、チキンおろしダレと続いています。



保健学科校舎

総合教育棟

建築後三十年以上も経過して

過していたため老朽化が激しく、耐震改修によって学生の安全が確保されました。また、講義室には椅子と机がスムーズに移動出来る装置を設置しています。

被ばく医療研究に期待

総合研究棟(保健学系) 保健学研究科校舎は建設から三十年以上も経過し老朽化が激しい施設で、耐震改修と内外改修を行いました。また、保健学研究科の改組で慢性的に教室棟の不足をきたしていたため、これに

に、保健学研究科の改組で慢性的に教室棟の不足をきたしていたため、これに

この研究棟では、緊急被ばく体制づくりを中心に教育研究活動の成果を結集するほか、福島原発事故で顕在化した国の原子力政策バックアップ体制の弱点、強化を図ることなどを目的としています。

また、アクティブラーニングが実施できるような教育環境も整備しました。さらに液晶プロジェクターなどAV機器の充実も図っています。

大 鵬 会

道内の活動について



会長 土棟 康司 (昭和39年 文理学部数学科卒)

本会は、「弘前大学・北海道高等学校教職員同窓会(通称・大鵬会)」とおとりかい」といい、弘前大学の出身者で、北海道在住の現職又は退職した教職員を会員とし、会員相互の親睦と現職教職員の職能向上を図ることを目的として活動しています。発足は昭和四十六年、ちょうど札幌市営地下鉄南北線が開業した年、今年で四十四年目になります。会員数は約四百名で、次のような活

動をしています。 1 総会・懇談会 毎年一月上旬(今年は一月初八日木曜日)に開催し、総会では事業報告・決算報告、事業計画案、予算案を審議の後、懇談会を行っています。弘前大学からは、平成二十一年度～二十三年度に遠藤正彦学長、平成二十四年度からは佐藤敬学長にご来臨頂き、大学の現況等をお話を頂戴しています。学長からは毎回、私たちの母校の充実した研究・

2 北海道教育セミナー これまで北海道高等学校教育の推進に寄与してきた弘前大学出身教職員の更なる力量形成に資することを目的として実施しており、昨年七月二十日土曜日で八回目の開催となりました。弘前大学からは、一月の総会と同じく、平成二十一年度～二十三年度に遠藤正彦学長、平成二十四年度からは佐藤敬学長にご来臨頂き、大学の現況等お話を頂戴しています。

3 理工学部との交流会 理工学部主催の札幌での保護者懇談会・進学相談会に合わせて、理工学部教員の皆様と共に本会会員による交流会を毎年行っており、昨年は九月二十日土曜日に開催されました。



平成25年度総会・懇談会 (平成26年1月9日(木) 東京ドームホテル札幌「小石川」)



平成26年度理工学部との交流会 (平成26年9月20日(土) 東京ドームホテル札幌「ダンテ」)



第8回北海道教育セミナー (平成26年7月26日(土) かてる2・7)



人文社会科学部 徐明 (中国)

光陰矢のごとし、気がつけば弘前に来て八年を迎えようとしています。弘前の四季ははつきりとしており、どの季節も美しく感じます。中でも春の美しさにはとりわけ驚嘆しています。

美しい弘前の春

初めて弘前を訪れたのは四月になると、厳しい冬を耐えた桜の木には、ピンク色の小さなつぼみが見えはじめます。下旬を迎えると、全国でも有数の桜の名所「弘前公園」



人文学部 アンパラット・ピヤチャット (タイ王国)

私はタイのコンケン大学から交換留学生として弘前大学に留学しています。弘前に着いた時、自分が勉強した日本語とこの日本語が違うと感じていました。一、二週間

親切に感動

最初春に来た時はあまり寒くないと思いましたが、実はとても寒いと思います。



大学で日本人の友達があまりいなかったが、サークルに入った後たくさん日本人の友達ができ

て嬉しかったです。日本人の友達から色々な習慣や文化を勉強しました。

から垣間見える土の色、暖かい風のおいし。近づく春の足音に心も浮き立ちます。

五月になると今度は可憐な白いりんごの花が咲き始め、岩木山の麓を白く染め上げます。弘前の春は語りきれないほどの美しさです。

Table with 3 columns: Name, Position, and Department. Lists members of the Hirosaki University Alumni Association.

3学部で節目祝う 60周年の農学生命科学部 人文と理工はともに50周年 弘前大学は今年、三つの学部で節目を迎えます。

平成25年度 弘前大学同窓会決算報告書

Table showing financial results for the 25th fiscal year, including income and expenses.

平成26年度 弘前大学同窓会事業予算書

Table showing budget for the 26th fiscal year, including income and expenses.

平成26年度 弘前大学同窓会事業計画

Table showing business plan for the 26th fiscal year, including business content and expenses.

平成25年度 弘前大学同窓会「吉田基金」決算報告書

Table showing financial results for the 25th fiscal year for the Yoshida Fund.

平成26年度 弘前大学同窓会「吉田基金」事業予算書

Table showing budget for the 26th fiscal year for the Yoshida Fund.

弘前大学同窓会事務局 01172(36)2132



- List of committee members including 大倉邦夫, 相馬正栄, 中村光男, etc.

会報編集委員名簿

編集後記 同窓会報第十六号は佐藤学長から「弘前大学将来ビジョン」...